

夏休み小学校放課後教室での人権啓発活動

多治見人権擁護委員協議会 土岐地区部会

土岐地区部会では、夏休み小学校放課後教室を利用して人権啓発活動を行いました。

令和5年8月21日泉西小学校、22日駄知小学校、23日妻木小学校で実施し、低学年（1～3年生）と高学年（4～6年生）に分けて行いました。

低学年の児童に対しては、エプロンシアター「ともだちほしいなおおかみくん」を人権擁護委員5名で実演しました。児童たちは、おおかみくんの行動や、他のうさぎさん、ぶたくん、きつねさん、たぬきくんの行動に見入っていました。最初は、怖いおおかみくんと思っておりましたが、おおかみくんが一生懸命みんなの世話をするので、うさぎさんたちは、見た目で判断してはいけないことに気付きました。人間も同様で、友だちを見ただけで判断せず、仲良くすることが大切であると子ども達自身が気付いてくれることを願いながら演じました。

高学年の児童に対しては、「まちなかから」というパネルを使って、人権を考える上で大切な視点を見つけることができるよう、クイズ形式で行いました。例えば、「外国人入居ダメ」という看板があります。これは「差別」につながります。また、お年寄りが多いの荷物を持っているので、助けてあげました。親切な行為です。等・・・

出席してくれた児童は、熱心に見てくれました。来年もこのような放課後教室等の機会を通じて、人権啓発の活動を実施していきたいと思えます。

